

令和6年度 宝塚市社会福祉法人連絡協議会 事業報告

1. 総会・運営委員会・テーマ部会

項目	日時	内容	参加者
総会	令和6年 6月17日 13時～ 15時30分	<p>議案第1号 令和5年度事業報告（案）、決算（案）及び監査報告</p> <p>議案第2号 令和6年度役員体制（案）</p> <p>議案第3号 令和6年度事業計画（案）、予算（案）</p> <p>議案第4号 宝塚市社会福祉法人連絡協議会 規約の改正（案）</p> <p>報告（1）宝塚市社会福祉協議会 評議員の推薦について</p> <p>報告（2）クールシェアスポット実施について</p> <p>記念講演：「包括的支援体制における ほっとかへんネットの役割」</p> <p>講師：関西学院大学 人間福祉学部 社会福祉学科 教授 藤井博志氏</p>	<p>出席者 24名</p> <p>新旧役員 9名</p> <p>加盟法人 13名</p> <p>事務局 2名</p> <p>記念講演 出席者 72名</p>
運営委員会	<p>令和6年</p> <p>4月16日 5月13日 6月18日 7月16日 8月28日 9月25日 10月25日 11月29日 12月26日</p> <p>令和7年</p> <p>1月29日 2月27日 3月26日</p>	<p>月1回実施（代表・副代表・部会長・事務局）</p> <p>【令和6年度の主な協議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宝塚市地域福祉研修の実施について ・テーマ型部会の運営支援 ・各分野の情報交換 ・ほっとかへんネット課題対応プロジェクトの企画立案 ・制度狭間（食の支援、住まいの支援、社会参加の支援など）、生活困窮者自立支援制度と市内の現状に関する意見交換・協議（※宝塚市せいかつ支援課、せいかつ応援センターなどとの連携） 	<p>運営委員 4名</p> <p>部会長 2名</p> <p>事務局</p>
地域貢献活動部会	<p>令和6年</p> <p>4月23日 5月28日 6月25日 7月23日 8月27日 9月24日 10月22日 10月27日 11月26日 12月24日</p> <p>令和7年</p> <p>1月28日 2月25日 3月25日</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・4月は、11月に実施される地域福祉研修に向けて地域貢献部会が事業所に赴き、地域福祉研修への参加を促すための出前講座の内容について協議を行った。 ・5月～10月は2グループに分かれ、宝塚市記念事業「にじいろ福祉フェア」ブース出展準備と出前講座資料作りを行った。 ・10月27日、「にじいろ福祉フェア」にて広報活動と共に、宝塚市（1～7地区）の地図を掲示し、社会福祉法人の場所をシールで示すことで市民へ説明を行った。また子供向けにはクイズを出題し景品としてお菓子を配布した。事前に100個準備をしたが午前中にほとんど配布を終えることが出来た。 ・11月6日、宝塚けやきの里、宝塚育成事業所合同で出前講座1回目を実施した。 ・11月19日、27日は地域福祉研修。地域福祉の概要を学ぶほか実践報告、他分野との交流の場とした。 	<p>部会員 14名</p>

項目	日時	内容	参加者
防災の取組み部会	令和6年 5月8日 6月11日 7月30日 8月14日 9月25日 10月27日 令和7年 2月12日	部会員の中からコアメンバーを選出。少人数で方向性を協議することで部会が円滑に進む工夫を行った。 ・7月は地域防災の取組みにおける社会福祉法人の役割説明と、市総合防災課による防災マップの見方の講話、あいわ苑職員の被災地での活動体験を聞いた。 ・9月は、防災食の試食、発熱剤の利用体験を通して防災食等の必要性や関心を高めることができた。 ・10月は、にじいろ福祉フェアにて防災食の紹介、発熱剤・簡易トイレの実演紹介を行った。参加市民（約100人）に対し情報提供をすることができた。 ・2月は、1年間の振り返りを行うことで来年度の活動計画へとつなげていくことができた。	部会員 14名

2. 研修・その他

項目	内容	参加者
研修会・会議	<p>■宝塚市地域福祉研修（※宝塚市・宝塚市社会福祉協議会との共催） 【企画会議】事前打ち合わせ、事後振り返りなど</p> <p>【研修（1日目）】 日時：11月19日（火） 14時～17時 場所：宝塚市立中央公民館 セッション1「地域福祉の概要ー包括的支援体制と宝塚の地域福祉ー」 講師：関西学院大学 教授 藤井博志氏 セッション2「専門職間の交流」 3人一組ワーク セッション3「7つの地区ごとの地域生活支援会議について」</p> <p>【研修（2日目）】 日時：11月27日（水） 14時～17時 場所：宝塚市立中央公民館 セッション1「地域と専門職の協働の実践報告」 発表・パネルディスカッション： 放課後等デイサービス COCO 育 管理者 山崎 顕氏 地域住民（地域福祉活動者） 田村 洋子氏 コーディネーター： 宝塚市社会福祉協議会 生活支援コーディネーター 太田昌憲氏 セッション2「グループワーク 住民との交流から学ぶ協働」</p> <p>■ほっとかへんネット宝塚 西谷地区会議 ～ミニディサービスの課題について～ 日時：3月24日（月） 10時～12時 場所：宝塚シニアコミュニティ 参加事業所：宝塚シニアコミュニティ 西谷憩いの家 希望の家</p>	<p>1日目 75名</p> <p>2日目 83名</p>

項目	内容
外部会議などの 参画	<p> ■兵庫県社会福祉法人連絡協議会代表者等交流会（安田代表） ほっとかへんネットを取り巻く動向とこれからの活動～ガイドブックより～ 日時：7月25日（木）13時30分～ 場所：兵庫県立のじぎく会館 </p> <p> ■宝塚市セーフティネット会議（金川副代表） 居住支援について 日時：8月19日（月）14時～ 場所：宝塚市総合福祉センター 大ホール </p> <p> ■令和6年度ほっとかへんネット実践交流会（恒松部会長 他2名） 能登半島地震 災害福祉救援 誰ひとり取り残されない地域に向けて ～社会福祉法人職員の実践から考える～ 日時：8月23日（金）13時30分～ 場所：福祉人材研修センター </p> <p> ■今こそ、求められる緊急一時支援（恒松部会長 他3名） 全国キャラバン ～先進事例から学ぶ～ 日時：9月27日（金）9時30分～ 場所：宝塚市総合福祉センター Zoom（パブリックビューイング方式にて） </p> <p> ■令和6年度第2回 ほっとかへんネット実践交流会 （登壇：安田代表 参加者：霜副代表・恒松部会長 他1名） 現場発！つながりから生まれる新たな挑戦 ～ほっとかへんネット実務者の実践から考える～ 日時：3月10日（月）13時30分～ 場所：兵庫県立のじぎく会館 </p>
その他	<p> ■ホームページについて ・事務局である宝塚市社会福祉協議会のホームページ内に法人連絡協議会のページがあり、新規に2法人が加わった為、更新を行った。 http://takarazukashakyo.life.coocan.jp/soudan/renrakukyougikai </p> <p> ■PRグッズ作成について ・ほっとかナイト（騎士）のロゴ入り不織布バッグを300枚、ティッシュを2,000個作成し、市民へのPR活動に利用した。また、各法人にも一式配布した。 ・ほっとかナイト（騎士）缶バッジ100個の作成を、ひきこもり支援の一環で「スマレン's ワークいろり」に発注し、イベント時に配布した。 </p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">    </div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div>

令和6年度 宝塚市社会福祉法人連絡協議会 決算書

(単位:円)

収入の部

項目	予算額	決算額	差異	摘要
会費	270,000	290,000	20,000	@10,000円×29法人
ほっとかへんネット課題 対応PJ助成	0	300,000	300,000	県社協・経営者協議会より
前年度繰越金	592,939	592,939	0	
利息	0	348	348	預金利息
合計	862,939	1,183,287	320,348	

支出の部

項目	予算額	決算額	差異	摘要
テーマ部会費	250,000	138,788	111,212	防災食・イベントグッズ
広報啓発費	150,000	99,950	50,050	ホームページ更新料・バッグ・ティッシュ・缶バッジ
消耗品費	5,000	11,196	-6,196	事務消耗品・お茶
通信費	15,000	9,486	5,514	資料等郵送代
諸謝金	50,000	50,000	0	基調講演(藤井先生)
諸会費	3,000	3,000	0	宝塚市社会福祉協議会組織構成会費
緊急対応支援費	100,000	0	100,000	
手数料	2,000	7,480	-5,480	振込手数料・いろいろ工賃
小計	575,000	319,900	255,100	
予備費	287,939	0		
合計	862,939	319,900		

収入合計	1,183,287
支出合計	319,900
次年度繰越	863,387